

市自主運行路線（自主運行バス、デマンドタクシー、袋井駅・中東遠医療センター線）の見直し準備について

現在、本市が運行している自主運行バス及びデマンドタクシーは、令和7年度から令和8年度までの2か年で運行業務委託契約及び車両借上契約を締結しており、今年度、契約更新を進めていきます。

また、袋井駅・中東遠総合医療センターが自主運行路線であることから、業務委託化するため新規契約を進めていきます。

今回の契約更新・新規契約では、「第2次地域公共交通計画（新計画）」で示した計画の基本方針や目標、目指す将来の地域公共交通体系に基づき、主に次のような方針で令和9年度から令和10年度までの運行に向けた準備を進めていきます。

1 「第2次袋井市地域公共交通計画（新計画）」（R8～R12）における基本方針等

（1）基本方針

「そうだ!!公共交通があるね！ 公共交通が移動手段として選ばれるまち」

（2）地域公共交通計画の目標

- ア 市民に日常から認識してもらえる公共交通
- イ 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通
- ウ 地域で支え合う公共交通

（3）目指す将来の地域公共交通体系（地域公共交通計画に各移動手段の位置づけ）

- ア 自主運行バス（フーちゃん号、メローバス）
 - ・ 中心拠点である袋井駅と地域拠点である上山梨地区周辺・浅羽支所周辺の移動手段として位置づける。
 - ・ 主に日中の高齢者の買い物・通院等のくらしの足として確保
- イ デマンドタクシー
 - ・ ドア・ツー・ドア型デマンドタクシーは集落地域における自主運行バスの代替交通手段として運行する。
 - ・ 停留所型デマンドタクシーは、路線バス等の廃止の代替手段として運行する。
- ウ 袋井駅・中東遠総合医療センター線（自主運行路線）
 - ・ 中東遠総合医療センターへの移動手段及び市内高校（袋井高校）への通学の足として運行する。

2 利用状況・課題

（1）利用状況

地域公共交通の現在の運行状況は、新型コロナウイルス感染症による外出機会損失前の令和元年度と同程度まで回復しています。

＜令和 7 年度における利用者状況＞

- ア 市が運行する R 7 年度の公共交通全体の利用者数は、コロナ禍を経て回復傾向にあり、コロナ禍前の R 1 年度と比較すると同程度となっている。
- イ 自主運行バスは R 7 年度に運行の見直し及び運賃値上げを実施したことにより、R 6 年度比で利用者数が 13.2%減となったものの、運賃収入は 62.2%増となっている。
- ウ 袋井駅・中東遠総合医療センターは運行見直しによる減便（往復 12 便→8 便）となったことで、R 6 年度比で利用者数が 7.9%減となった。

（２）課題

コロナ禍により令和 2 年度に大きく減少した利用者数は、コロナ禍前の利用者数と同程度まで回復したが、現在の運行においては次の課題が考えられる。

ア 利用状況に即した運行

全体の利用者数は増加しているが、路線や時間帯による利用状況の違いがあり、より利用しやすい運行が求められる。

イ 他路線との接続

基幹バス路線などとの乗り換えについて、利用状況を踏まえた時間の調整が求められる。

ウ 収支率の低下

（ア）自主運行バス（フーちゃん号、メローバス）

物価高騰や運行状況や運転士の処遇改善等に伴う契約金額増加の中、運賃値上げを実施したが、収支率の改善まではできていない。

（イ）デマンドタクシー

運行状況や運転士の処遇改善等に伴う契約金額増加の中、運賃値上げを実施したが、収支率の改善まではできていない。

（ウ）袋井駅・中東遠総合医療センター線（自主運行路線）

運行状況や運転士の処遇改善や燃料費高騰等の物価高騰に伴い、運行に係る欠損額に対する補助金額が年々増加傾向であり、収支率の改善が必要。

3 令和 9 年度からの運行に向けた検討事項

現在の運行を基本としながら、上記の課題解決に向けて、更なる改善を図る。

（１）自主運行バス（フーちゃん号、メローバス）

ア 循環型運行の継続

現在の循環型の運行を継続する。

イ 路線とダイヤの見直し

より利便性を向上するため、利用状況や利用者・地域からのご意見や、基幹バス

路線や鉄道との乗り換えを踏まえ、必要に応じ路線とダイヤの見直しを実施する。

(2) デマンドタクシー

ア 各地域・路線運行の見直し

現在の運行地域の継続を基本とし、路線については必要に応じて見直し、対象となる地域を中心に周知や利用促進を実施する。

イ 目的地の見直し（ドア・ツー・ドア型）

施設の設置や廃止の状況などとともに、利用者の意見も参考とした目的地の見直しを実施する。

ウ 停留所位置の見直し（停留所型）

利用者の利便性向上のため、停留所位置の見直しを実施する。

(3) 袋井駅・中東遠総合医療センター線（自主運行路線）

ア 業務委託化へ向けた調整

現在、運行に係る欠損額に対して補助を行っているが、自主運行路線であることから、本市公共交通全体の見直しに併せて、業務委託化に向けて調整を行う。

イ 運賃の見直しの検討

運行当初から据え置いている運賃について、事業の継続性を考慮し、見直しを検討する。

(4) その他

ア 運行情報の周知

現在も実施している Google マップへの掲載や乗り換え検索サイトへの対応及び、秋葉バスサービス(株)と連携したデジタルサイネージの掲出を維持し、運行情報を積極的に発信する。

イ 他路線との調整

基幹バス路線である秋葉線・秋葉中遠線や J R 東海道本線との接続時間を考慮し、乗り換えの円滑化を図る。